

経営体の概要

- ・所在地：島根県奥出雲町阿井地区
- ・取組主体：阿井地区集落営農組織等連携検討委員会（ドローン防除チーム）
- ・栽培作物・作付面積：水稲149ha（水田170ha）
（令和6年5月現在）

導入技術

農薬散布用ドローン
（DJI社製、AGRAS MG-1）



↑ 農薬の注入作業



↑ 防除前の試運転



↑ 水稲防除薬剤散布作業

導入経緯

- 阿井地区集落営農組織等連携検討委員会はH26年に4農事組合法人、3集落営農組織、1集落協定で設立。（現合同会社あいの里）
- H29年度に実施したアンケート調査により、防除作業の軽減の要望が大きいことが判明し、その実現に向けた集落ビジョンを作成した。
- H30年県単事業（集落営農体制強化スピードアップ事業1/3補助）、中山間地域等直接支払制度の集落連携・機能維持加算の活用によりドローンを2機導入。防除チームを結成した。

取組の特徴・効果

- 構成する各組織からの人選により、農家子弟を含む10名の若手（20～60代）を確保し、オペレーターとして育成した。
- 令和5年度は延べ138haの防除を実施した。従来は各組織が実施していた動力散布機による防除作業をドローン防除チームが担うことにより、農家の負担が軽減した。2台のチーム編成により、出穂期及び穂揃期の適期防除が可能となった。
- 10名のオペレーターは集落営農に興味を持ち、次代の後継者につながる人材確保につながった。